

主催：鹿児島大学国際連携推進センター、  
科学研究費基盤研究(A)海外調査「レバノン・シリア移民の拡張型ネットワーク」

## 第2回国際セミナー

# ブラジル社会とレバノン移民

～映画『古風な農業』(ブラジル 2001年)をめぐって～

『古風な農業』“Lavoura Arcaica”は、ブラジルのレバノン系移民2世作家、ラドゥアン・ナサル／ラドワン・ナッサール (Raduan Nassar, 1935-)の同名小説(1975)に基づく映画です。

本映画を鑑賞し、ブラジルにおけるレバノン移民、日系移民について語り合う機会にしたいと思います。

日時

平成25年7月13日(土)

13:00～18:00(開場 12:30)

場所

鹿児島大学稲盛会館ホール

講師

東京外国語大学教授

すず き しげる  
鈴木 茂 氏

ブラジリア大学准教授、国際日本文化研究センター研究員

ね がわ さち お  
根 川 幸 男 氏

鹿児島大学生涯学習教育研究センター講師

さか い ゆう すけ  
酒 井 佑 輔 氏

\* 本テーマについて関心のある方はどなたでもお気軽にご参加ください \*

参加  
無料

# ブラジル社会とレバノン移民

～映画『古風な農業』(ブラジル 2001年)をめぐる～

## プログラム

13:00～13:10 開会挨拶 ■竹内 勝徳 (鹿児島大学国際連携推進センター)  
趣旨説明 ■黒木 英充 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)

13:10～13:20 映画紹介 ■鈴木 茂 (東京外国語大学大学院総合国際学研究院)

13:20～16:25 映画“Lavoura Arcaica”上映 (途中10分休憩あり)

16:25～16:40 休憩

16:40～17:30 映画をめぐる鼎談  
■根川 幸男 (ブラジリア大学/国際日本文化研究センター)  
■酒井 佑輔 (鹿児島大学生涯学習教育研究センター)  
■鈴木 茂

17:30～17:55 質疑応答

司会：鶴戸 聡 (鹿児島大学法文学部)

## 映画の概要

厳格な父と慈愛に満ちた母、父親に忠実な長男ペドロ、父親に反発する次男アンドレ、アンドレに憧れる末弟ルーラ、ローザ、アナ、ズレイカ、フダの4姉妹からなる一家。

次男アンドレは、息のつまるような農園の生活に耐えられず家出し、遠くの町の安下宿で悶々とした日々を送っていた。そこへ突然兄ペドロが現れる。母親に請われてアンドレを連れ戻しにきたのであった。ペドロに対するアンドレの長い語りから、家出の経緯と「放蕩息子」の思いが明かされる。そこには説教師のような父との葛藤に加え、妹アナとの禁断の愛が隠されていた。アンドレが家族の元へ帰ると、すでにアンドレの帰還を歓迎するパーティーの準備が始まっていた。しかし、アンドレは再び父と衝突する。翌日開かれた歓迎パーティーは悲劇で終わる。

原作には、「マクトゥーブ Maktub」(天の書に「記されている」、つまり「運命づけられている」の意味)というアラビア語がしばしば登場する。この言葉に象徴されるアラブ的な精神が随所に盛り込まれ、ブラジル現代文学に大きな反響をもたらした。アンドレの帰還を歓迎するパーティーでも、レバノンの踊りが再現される。映画は原作に忠実に作られており、長い独白と映像美が詩的な感興を醸し出す。

モントリオール国際映画祭最優秀芸術作品賞、ハバナ映画祭特別審査員賞などを受賞。

**Lavoura Arcaica** (2001年 ブラジル 171分) 言語：ポルトガル語 (英語字幕、日本語資料を用意)

監督：ルイス・フェルナンド・カルヴァリョ 出演：セルトン・メロ、ラウル・コルテス、シモーネ・スポラドーレ

【お問い合わせ先】 鹿児島大学法文学部准教授 鶴戸 聡

TEL : 099-285-8883 E-mail : udo@leh.kagoshima-u.ac.jp